

意見募集結果公表資料(個別案件用)

案 件 名	亀岡市景観計画(変更案)について	公 表 日	令和3年2月4日
上記案件について、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。 お寄せいただいたご意見及びこれに対する亀岡市の考え方を以下のとおり公表いたします。			
意見募集期間	令和2年12月10日(木)～令和3年1月8日(金)	意 見 数	2
意 見 の 要 旨		亀 岡 市 の 考 え 方	
(19ページ) 「篠町企業団地の景観形成におけるやまなみ景観への配慮基準の追記」 具体的方策について 前段の景観形成の方針において、「背景のやまなみと調和したまちなみ景観の形成を図る」とされています。一方、本具体的方策においては周辺住宅地への配慮デザインとするよう誘導指針は示されていますが、景観形成の両輪の一方となるやまなみとの調和を図るよう誘導するデザイン指針が抜けているように思われます。具体的方策と言う表題に見合うような踏み込んだ、かつイメージが湧くような言葉があるべきだと思われる。 例 稜線との調和を図るよう、勾配屋根や傾斜状の底を廻すなど屋上設備の露出を避ける 補足:具体的方策であるので、また規制誘導することなので、派手なものを規制する意図は賛成しますが、どのような誘導イメージを持たれているのかも併せて示した方が良いのでは。特に背景となるやまなみ景観との調和を図るために、都市景観形成地区の行為の制限基準以上の上乗せ基準が必要ではと考えます。 例 やまなみの緑との調和を図るため、アースカラーを基調とするなど派手な屋根、外壁を避ける 同じくやまなみの緑との調和を図るために、高彩度部分の面積を抑えるなど派手な屋外広告物は避ける		亀岡市景観計画では、具体的方策に基づいて、変更案30, 31ページなどのように、地区における行為の制限を規定しており、建築物の外壁、屋外広告物については、具体的な色彩(彩度)基準を設けています。 背景のやまなみとの調和を図る手法としては、規模や立地などそれぞれ条件が異なることから、画一的な基準は設けず、周辺の自然環境と調和する工夫や配慮を求めることとしています。	
「トロッコ列車の景観」 赤、黒、黄の色のコントラストが良いと思う。黄ならば、子どもが手軽に乗れるから。赤と黒はとても目立つ色で定番なので気に入っています。色がきれいだと思う。列車が通り、動画になると3Dになって、よい空気と景観が見えない場所にばかり模様となると思う。		今回の亀岡市景観計画(変更案)の内容に該当するご意見ではないと判断させていただきます。	